

ウクライナでの戦火を逃れてきた母子。長旅の疲労と不安を抱えている=3月10日、ポーランド・ワルシャワ東駅構内(ルポライターの丸山美和さん撮影)

ロシアによる民間人への無差別攻撃が拡大、ウクライナの人々の命が重大な危険にさらされています。日本政府は、憲法9条をもつ国として非軍事の支援をいっそう強めるとともに、「侵略やめよ」の国際世論でプーチン政権を包囲する先頭に立つべきです。

／**憲法9条**もつ国として／

非軍事の支援を ウクライナを救え

日本
共産党

— UNHCR — 国連機関やユニセフに 募金を届ける

深刻な食料・医薬品不足が報道されるなか、懸命に支援にとりくむ国連、NGOへの資金援助がいま切実に求められています。日本共産党としても募金にとりくみ、国連機関に届けています。



ウクライナ支援の募金をよびかける日本共産党の宣伝行動。
右から2人目は梅村さえこ参院埼玉選挙区予定候補=3月8日、東京・池袋駅前

募金の
お願い

郵便振替 ▶口座番号 00170-7-98422
▶加入者名 日本共産党中央委員会

*通信欄に「ウクライナ募金」と明記ください。 *手数料はご負担願います。



国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)のナッケン鯉都駐日首席副代表(右)、国連UNHCR協会の川合雅幸事務局長(中央右)に募金を手渡す志位和夫委員長と田村智子副委員長(左)=3月10日、東京都内



全国からの募金を日本ユニセフ協会の高橋正博事務局長(右)に手渡す小池晃書記局長(中央)と吉良よし子参院議員=3月15日、東京都港区

赤旗写真ニュース | 2022年3月4週 | 1573号 |

毎月2回発行(3月は2週と4週) 1部25円

発行所・日本共産党中央委員会 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 電話 03(3403)6111

しんぶん赤旗をご購読ください
日刊・月3,497円 日曜版・月930円

電子版(日刊)
もあります



日本共産党